

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 10 日作成)

小委員会名	アカデミック・スタンダード小委員会	主 査 名：井上勝夫 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：久野 覚 主 査 名：井上勝夫
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2011 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築および都市の環境工学に関する性能項目、性能基準（規準）、検証方法の学会としての基本姿勢を研究者や実務家、各種団体、行政に対して明示する。 ・ 新しい学術的成果や技術的展開をアカデミック・スタンダードとして示す。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無 (2009 年度) 井上勝夫 (日本大学)、稲留康一 (奥村組)、北原博幸 (トータルシステム研究所)、池田耕一 (日本大学)、小竿真一郎 (日本工業大学)、神谷博 (㈱設計画水系デザイン研究室)、川瀬隆治 (東急建設)、木村健一 (㈱フジタ)、佐藤洋 (産業技術総合研究所)、佐藤仁人 (京都府立大学)、土川忠浩 (兵庫県立大学)、中島康孝 (NPO 法人建築環境・設備技術情報センター)、平手小太郎 (東京大学)、平松友孝 (音・環境研究所)、柳宇 (東北文化学園大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	<ul style="list-style-type: none"> ○各運営委員会所属の WG 熱環境運営委員会 (室内温熱環境設計法学会規準解説書作成 WG、温熱心理生理測定法学会規準解説書作成 WG)、電磁環境運営委員会 (電磁環境/電磁環境技術基準小委員会) ○企画刊行運営委員会所属の WG：各運営委員会から刊行段階で移行 設備設計図書標準化検討小委員会、窓・開口部アカデミックスタンダード小委員会、TVOC による室内空気環境に関するアカデミック・スタンダード WG、トルエンによる室内空気環境に関するアカデミック・スタンダード WG、アセトアルデヒドによる室内空気環境に関するアカデミック・スタンダード WG、室内微生物制御マニュアル作成 WG、室内臭気測定法マニュアル作成 WG、都市・建築空間の音声伝送性能評価規準、雨水建築規格化小委員会、環境磁場の計測方法に関する学会基準作成、昼光に関する基準、建築空間の質感・色彩設計法 	
2009 年度予算	433000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s8/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「室内光環境・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」 2. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「アセトアルデヒドによる室内空気汚染防止に関する濃度等規準・同解説」 3. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「トルエンによる室内空気汚染防止に関する設計・施工等規準・同解説」 4. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「総揮発性有機化合物の汚染防止に関する設計・施工等規準・同解説」
講習会	1. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「室内光環境・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」講習会 (3/9 予定) 参加者数 名 2. アカデミック・スタンダード (AIJES) 「アセトアルデヒド・トルエン・総揮発性有機化合物の汚染防止に関する規準・同解説」講習会(3/26 予定) 参加者数 名
催し物	1. シンポジウム「アセトアルデヒド・トルエン・TVOC に関するアカデミックスタンダード」(8/4) 参加者数 73 名 2. シンポジウム「建築環境・設備設計図書に関する学会規準 (案) のシンポジウム」(10/26) 参加者数 18 名
大会研究集会	1. 参加者数 名

対外的意見表明・パブリックコメント等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「アセトアルデヒドによる室内空気汚染に関する濃度等規準・同解説」(案)パブリックコメント 2. 「トルエンによる室内空気汚染に関する設計・施工等規準・同解説」(案)パブリックコメント 3. 「総揮発性有機化合物による室内空気汚染に関する設計・施工等規準・同解説」(案)パブリックコメント 4. 「室内光環境・視環境に関する窓・開口部の設計・維持管理規準・同解説」(案)パブリックコメント 5. 「臭気測定法マニュアル」(案)パブリックコメント 6. 「建築環境・設備設計図書に関する学会規準」(案)パブリックコメント
目標の達成度 <small>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1. アカデミック・スタンダード刊行4件(計画6件) 2. 刊行準備9件(計画9件)
委員会活の問題点・課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一部のアカデミック・スタンダードの刊行に遅れが生じている

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。